

平成 30 年 3 月 31 日

## 「道徳性・向社会性」分科会 平成 29 年度活動報告

「道徳性・向社会性」分科会代表

横浜市立大学 長谷川真里

### 活動報告

(1) シンポジウム「心理学は道徳教育にどう寄与できるか～道徳性心理学研究から考える～」

日本道徳性発達実践学会第 17 回立命館大会において、以下のように「道徳性・向社会性」分科会の企画・実施の公開シンポジウムを実施した。なお、発達心理学会員は無料参加可能とした。

日時：9 月 24 日（日）10：50～12：20

会場：立命館大学衣笠キャンパス恒心館 2 階

話題提供者：

長谷川真里（横浜市立大学）「道徳感情の発達：その萌芽と他者の感情の理解」

林創（神戸大学）「直観だけに左右されない理性的な道徳判断を育む教育の大切さ」

藤澤文（鎌倉女子大学）「モラルジレンマを用いた「考え議論する」道徳授業の検討」

荒木寿友（立命館大学）「道徳教育（道徳科）は心理学に何を期待するのか」

世界の道徳性心理学研究が進展するなかで、新たな理論構築がなされている。本シンポジウムでは、発達心理学の立場から道徳教育にどう寄与できるのかを考えるために、発達心理学の最新の知見を含めた、道徳性発達研究の成果について話題提供をし、議論した。

(2) ラウンドテーブル「正と負の分配における公平判断：幼児・児童が報酬と責任をどう分けるか」

日本発達心理学会第 29 回大会にて、以下のようにラウンドテーブルを開催した。

日時：平成 30 年 3 月 25 日（日）10：00～12：00

会場：東北大学川内北キャンパス

発表者：

企 画	： 長谷川真里	(横浜市立大学国際総合科学部)
ファシリテーター	： 越中康治	(宮城教育大学教育学部)
話 題 提 供	： 橋本祐子	(関西学院大学教育学部)
話 題 提 供	： 戸田有一	(大阪教育大学教育学部)
指 定 討 論	： 平石界	(慶應義塾大学文学部)

道徳性発達研究において、公平に関わる問題は、「矯正的正義」、「分配的正義」、「手続き的正

義」の3つから検討されてきた。「矯正的正義」とは不均衡を調整する際の公平さに関わるものであり、交換されるものが公平であるかという問題が含まれる。「分配的正義」とは名誉や財産などをどのように分配するのが公平なのかという問題である。「手続き的正義」とは情報の収集の仕方や決定の仕方といった手続きについての公平さのことである。

本ラウンドテーブルでは、分配的正義に注目し、実験的、理論的に新規の挑戦を続ける研究グループに話題提供をお願いした。当日は、社会心理学・進化心理学を専門とする指定討論者の議論を受け、フロア全体で活発に討論を行った。

以上